

差出人: csih@googlegroups.com は 橋本 英樹 <hidekih@wine.plala.or.jp> の代理
送信日時: 2014年10月26日 日曜日 19:13
宛先: csih@googlegroups.com
件名: [CSIH] 中部産業遺産研究会 ニュースレター 電子メール版 2014年10月26日発行
添付ファイル: 2014 9 28第130回定例見学会 記録.pdf; ごそそ技術士会総会例会のご案内
 2 0 1 4 1 1 2 9 B (2).pdf

///
 ///
 // 中部産業遺産研究会 ニュースレター 電子メール版 2014年10月26日発行 //
 ///
 ///

中部産業遺産研究会にご参加頂ける方をご紹介下さい。
 ご参加頂ける方には、この電子メール版ニュースレターを配信させていただきますので、
 このメールを返信する形でお知らせ下さい。

【入会案内はこちら】
<http://csih.sakura.ne.jp/nyuukaiannai.html>

【中部産業遺産研究会のホームページがリニューアルしました】
<http://csih.sakura.ne.jp/index.html>

【 CONTENTS 】 —————

- 【1】 中部産業遺産研究会・関連団体の行事予定
- 【2】 2014年度 パネル展と講演会（公開定例研究会）のお知らせ第【再送】
- 【3】 9月28日の第130回定例研究会（見学会）の報告／記録：井土 清司【New】
- 【4】 ABU Robocon 2014 準優勝の名古屋工業大学ロボコン工房を招いての講演会のご案内【New】
- 【5】 大人の算数・理科シリーズ：モノづくりの原点 第7回／杉本漢三【New】

【1】 中部産業遺産研究会・関連団体の行事予定

- 第131回研究会・パネル展講演会 2014/11/16(日) 13:00～ 名古屋都市センター11F・大研修室予定
- 第132回研究会 2015/01/25(日) 13:00～ 開催予定
- シンポジウム「日本の技術史をみる眼」第33回 2015/02/22(日) 13:00～ 産業技術記念館
- 第133回研究会 2015/03/22(日) 13:00～ 開催予定
- 第23回総会・第134回研究会 2015/05/24(日) 13:00～ 開催予定

会場は名古屋都市センターを除き予定です。名城大学名駅サテライトにお願いする予定ですが、
 大同大学や豊田くらし発見館などに変更する場合があります。

【2】 2014年度 パネル展と講演会（公開定例研究会）のお知らせ第【再送】

11月11日から開催の中部産遺研のパネル展と、11月16日開催の講演会（第131回定例研究会）
 ついて、中部産業遺産研究会のホームページに掲載しております。
 詳細はそちらをご参照下さい。

【パネル展と講演会についてのお知らせホームページ】

<http://csih.sakura.ne.jp/panerutenn.html>

パネル展と講演会は一般に公開して開催致しますので、中部産遺研の活動にご興味のある方をぜひお誘いの上、ご参加頂けましたらと思います。

【3】9月28日の第130回定例研究会（見学会）の報告／記録：井土 清司【New】

9月28日に開催した第130回定例研究会（見学会）について、添付ファイルの通り、報告を致します。ご参加頂けなかった皆様にもご覧頂けましたらと思います。

【4】ABU Robocon 2014 準優勝の名古屋工業大学ロボコン工房を招いての講演会のご案内【New】

名古屋工業大学ごきそ技術士会（名古屋工業大学卒業の技術士のグループ）では、11月29日土曜日に、今年の「NHK 大学ロボコン」に優勝し、8月24日にインドで開催されたアジア・太平洋地域の国と地域を代表する大学チームによるロボットの競技会「ABU アジア・太平洋ロボットコンテスト (ABU ロボコン)」に日本代表として出場し、準優勝した名古屋工業大学ロボコン工房の顧問の水野直樹教授と学生の皆さんをお招きして、講演会を開催致します。

詳細は添付ファイルをご覧ください。

一般の方の参加は無料です（懇親会への参加は有料になります）。

お気軽にご参加下さい。

お申し込みは次のホームページからお願いいたします。

http://www15.plala.or.jp/hidekih/gokiso_reikai.html

お問い合わせは、橋本英樹（名古屋工業大学ごきそ技術士会事務局）まで。

hidekih@wine.plala.or.jp

【5】大人の算数・理科シリーズ：モノづくりの原点 第7回／杉本漢三【New】

標準数 (preferred number)

等比数列(隣り合う数値の比が一定)を丸めたもので、機械器具などの寸法や値などに用いる標準数列をいう。製品の寸法などを選ぶために工業規格 JIS Z8601 で基準値として規格化されている。

しかし、横着で不勉強な若手技術者が多いのが現実である。設計者が困らなくても、これを使わないと会社が困るのである。製品の基本諸元をこの標準数を適用して品揃いすれば、最小の製品種類で最大の顧客を獲得できるのである。

1877～1879年頃に、当時フランスの軍人であったシャルル・ルナール(Charles Renard)が、気球の多種多様なロープの太さを纏めようとしたのがはじまりで、ルナール数とも呼ばれているが、頭文字のRをとって、R5、R10、R20、R40、R80などが数列表で標準化されている。たとえば、R5の標準数は、1.00、1.60、2.50、4.00、6.30であり、この数値は機械産業の現場でよく見る数値と思う。R10の標準数となると、R5の中間に1.25、2.00、3.15、5.00、8.00が加わり、25%ずつ変化していき、このR10は医学関係でも患者に利用している。

なお、抵抗器やコンデンサーなど電子機器に対しては、誤差を考慮した数列表として JIS C5063 でE3～E96系列の標準数が規定化されている。ちなみに、E3系列は、10、22、47であり、E6系列になると、これに15、33、68が追加される。

テレビの画面サイズの数字をよく見てみよう。

中部産業遺産研究会第130回定例研究会・見学会

(記録：井土 清司)

日時：平成26年 9月28日(日) 13:00 ~ 17:00

参加者：22名

見学先：揚輝荘・水の歴史資料館

◇揚輝荘見学

13:00に揚輝荘北園前に集合して、高木備太郎会員の案内で見学をする。

始めに、日泰寺創建と名古屋の東山づくりについて、それは日泰寺(創建当時は覚王山日暹寺)の創建によって始まり、現存する10余りの寺は、日泰寺創建後に移設などされ、現在に至っている。

揚輝荘は松坂屋の前身である「憐いとう呉服店」の初代社長伊藤次郎左祐民の別荘として約一万坪の丘陵地に、池泉をめぐるすなど地形を活かして造られ、1918(大正7)年に最初の建物が移築され、最盛期には30数棟の建物があった。戦時の空襲や老朽化、開発等から敷地・建物の多くが失われたが現在は、北園・南園に分断された中に、主要な部分が残されており、2007(平成19)年に名古屋市へ寄附された。しかし、豊彦稲荷社の部分は宗教施設であり、月見ヶ丘開発㈱が所有・管理しているなどの説明を受け、見学を始めた。

- (1) 伴華楼を外から見学、この建物は、1階の洋風建築の上に尾張徳川家から移築された2階の和室を乗せた造りであり、ここでは、松坂屋の「お帳とじ」など重要な年中行事などが行われる。
- (2) 白雲橋：修学院離宮の千歳橋を模したといわれる廊橋で、龍の天井絵、手掘りの白木擬宝珠が見どころ。
- (3) 三賞亭：茶屋町(現中区丸の内二丁目)の伊藤家本宅から移築した揚輝荘最初の建物。茶室で竹のなげしなど東洋風デザイン。
- (4) 北庭園：池を巡る庭園で池の水面に近寄ることができ、流水型であったが、現在は日泰寺側からの川が止められている。八丈島四阿や大島で椿油をとるのに使われていた石臼を見学。南園への通路脇には、旧伊藤銀行本店で使われた井桁に藤のマークの石版があった。
- (5) 聴松閣：2013年3月に創建当時状態に戻すための修復工事が終り、山荘風の外観をした迎賓館の様相を取り戻した。上高地帝国ホテルを模したといわれており、堅木を使用し、大工道具の刃痕を模様とするなど、本物の味がする。地下1階は、祐民の東南アジア・インド旅行からの帰国後インドアジャタ石窟の壁画の写しなどインド様式に変更された。また、壁画コーナーからは、トンネルの南入口(古代インド様式のアーチ型)を見ることができた。玄関前には、カシ類の植樹に模した換気筒(上部は破壊されている)を見ることができた。地上1~3階の各室は各国様式がミックスされており、南側ホールの石張柱・壁面のインド・イスラム様式文様や窓ガラスのヒマラヤ雪嶺のガラスレリーフなど見どころ満載と言ったところでした。

◇水の歴史資料館

東山配水場5号配水池に隣接して資料館は、2014年9月に開館された。資料館の職員から2グループに分かれて説明をして頂いた。

第1展示室：尾張藩の上下水道として出土した木樋や絵図を展示。上下水道敷設計画から当時の背景や先人の英知や努力に触れることができる。取水から浄水まで水道施設について、当時の写真やパネルの説明を通じて知ることができる。

第2展示室：配水管路の拡張の歴史について学ぶことができる。なごやの地震対策やおいしい水への取り組みを紹介している。工業用水の役割や歴史、や給水区域など写真やパネルで紹介。

第3展示室：下水道創設工事について紹介、維持管理の状況をテレビカメラ調査の映像などで紹介。日本初「活性汚泥法」による水処理を開始した掘留・熱田水処理センターについて、当時の様子を紹介。汚泥処理の歴史や「名古屋産活性汚泥肥料」に始まる汚泥の有効利用の意義や歴史などについて紹介。

第4展示室：浸水対策の歴史について紹介。様々な地震対策を紹介。

上下水道事業の歴史や役割、そして防災などわかりやすく学べる資料館である。じっくり見ると1時間ほど要する。

見学会は、揚輝荘につづき水の歴史資料館の見学で、立ちっぱなしのため皆さんは相当疲れてしまわれた。しかし日頃見ることができないところや丁寧な説明をして頂いたことから、北海道や千葉県から参加の会員からも、充実した見学会でしたと感想を述べられていた。参加者の皆さんお疲れさまでした。

ごきそ技術士会例会のご案内

「ABUロボコン世界大会準優勝に輝いたロボットと、それを開発した学生たちに出会える1日」

2014年10月吉日

名古屋工業大学ごきそ技術士会事務局

1 名古屋工業大学ごきそ技術士会

名古屋工業大学ごきそ技術士会(略称ごきそ技術士会)は、2010年に「創造性豊かなサロン」として発足しました。技術部門を越えて会員の相互研鑽と親睦を通じ、名古屋工業大学の学生や教職員と交流できる場の創設や、名古屋工業会、日本技術士会、他大学技術士会とも連携しながら、会員の職務能力の研鑽を図り、地域そして社会への貢献に寄与して行きたいと考えています。また設立から5年目に入ったごきそ技術士会はこれからが正念場であり、新たな事業計画を進めていきたいと考えております。

さて、第17回例会を11月29日(土曜日)午後に開催いたします。今回は、ABUロボコン世界大会の話題を取り上げます。テーマ「A SALUTE TO PARENTHOOD」、のもとに、日本国内で名古屋工業大学ロボコン工場のロボットが見事優勝し、日本代表として出場しました。さらに、プネ<インド>において、世界大会が開催され優勝はベトナムのラクホン大学に譲ったものの、名古屋工業大学は準優勝という輝かしい栄誉をえました。

そのロボコン工場の活躍ぶりを、担当教員としてご指導をされておられます水野直樹教授(機械工学科、創成シミュレーション工学専攻、M53)に基調講演をいただきます、さらに学生諸君にプレゼンテーションしてもらいます。

その後フリーディスカッションを展開したいと考えております。世界大会準優勝に輝いたロボットに出会い、それを開発した学生と語り合える1日となると思います。多くの方の奮ってのご参加をお願い申し上げます。



注記: ABU ロボコンとは、ABU(Asia-Pacific Broadcasting Union.アジア太平洋放送連合、日本のメンバーは NHK)が主催する事業であり、ABU アジア・太平洋ロボットコンテスト(ABU Asia-Pacific Robot Contest)を開催している。2002年8月の東京大会を第1回として、アジア太平洋地域の各国で毎年開催され、2014年インドにて第13回大会を開催した。(写真は ABU ロボコンのホームページから)

2 例会のご案内

◆◆◆ 例会のご案内 ◆◆◆

日時: 平成26年(2014年)11月29日(土曜日) 13:30~17:00 (13:00 受付開始)

場所: 名古屋工業大学 [名古屋工業大学学生会館1F 大食堂](#)

13:30~ ABUロボコン世界大会の報告

◎基調講演「ロボコン工場の歩みとABUロボコン世界大会(仮題)」

名古屋工業大学教授 水野直樹先生

◎名古屋工業大学ロボコン工場の学生によるABUロボコン世界大会についての報告

プレゼンテーション(デモンストレーションを含む)

15:30~ 休憩

15:50~ フリーディスカッション:「ロボットコンテストをめぐって」

○名古屋工業大学ロボコン工場の学生諸君

○ごきそ技術士会 副会長 打田憲生技術士

○ごきそ技術士会 幹事 橋本英樹技術士(元名古屋工業大学鉄道研究会会長)

☆交流会: 17:00~19:00 [名古屋工業大学学生会館1F 大食堂](#)

◎例会参加費: 一般市民/学生・教職員/修習技術者 無料 (ごきそ技術士会会員のみ 1000円)

○交流会費: 4000円 (ロボコン工場関係学生及び水野先生はご招待)

3 連絡先

ごきそ技術士会の例会参加フォームを作りましたのでお知らせいたします。例会参加の申し込みは、こちらから願います。アドレスは次の通りです。

なお、会場設営、資料等の準備の都合上、**11月26日(水)**までにご連絡をお願いいたします。

http://www15.plala.or.jp/hidden/gokiso_reikai.html



案内地図(名古屋工業大学)

◎ 名古屋工業大学ごきそ技術士会入会のご案内

◎◎◎ 入会のご案内 ◎◎◎

会費：年会費無料、例会等にはその都度実費(会場費及び講師謝金等の按分の負担金)を徴収します。

(正会員のみ、準会員、特別会員は無料、賛助会員は別途)

入会金：事務処理等の経費として、1000円ご負担していただきます。

(正会員のみ、準会員、特別会員は無料、賛助会員は別途)

連絡手段：会員への連絡は、当面電子メールを通信手段としたいと考えております。まずは以下のアドレスにアクセスしてください

○事務局 田中秀和技術士(情報工学部門、Es48)のメールアドレス

hitanaka@daido-it.ac.jp

○会計幹事 橋本英樹技術士(金属、総合技術監理部門、Zk1)が開設しているホームページがあります。

<http://www15.plala.or.jp/hidden/nitpe/>